

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 申命記 6:4-5 …………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 34番
- \*交読文 …………… 34番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 399番
- メッセージ …………… 祝福の法則を体得しているユダヤ人の秘訣(ネヘミヤ 8:5-6)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 390番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告 …………… 今週はコーエン講義の為、早天礼拝以外の礼拝を全てお休みします。
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

あなたのみ言葉は\_\_\_の足のともしび、\_\_\_道の光です…。み言葉が開けると光を放って、無学な者に知恵を与えます。(詩篇 119:105,130)

聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、\_\_\_を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。

それによって、神の人\_\_\_が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。(2テモテ 3:16-17)

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。この言に命があった。そしてこの命は\_\_\_の光であった。光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。(ヨハネ 1:1-5)

今週はコーエン日本ラーニングセンターの学びが行われる。それに先立ち、本日はヘブライ思考はいかに確立して行ったのか、またユダヤ人は主に對し、御言葉に對し、いかに本気で取り組むようになったのか、そして、ユダヤ民族はなぜ二千年の離散を経ても一つになる事が出来たのか。その秘訣をを学びたい。

『エズラは全ての民の前にその書を開いた。彼は全ての民よりも高い所にいたからである。彼が書を開くと、すべての民は起立した。エズラは大いなる神、主をほめ、民は皆その手をあげて、「アメン、アメン」と言ってお答へ、こうべをたれ、地にひれ伏して主を拝した。』(ネヘミヤ 8:5-6) この節に秘訣が隠されている。

エズラ(עזרא :エホバが助ける)は、大祭司アロンの16代子孫の大祭司で、『モーセの律法に「精通した学者(「ソヘルマヘル סופר מהיר :巧みな書記(詩 45:1)』(エズラ 7:6)であった。マヘル(書記官)は、聖書を全部丸暗記している。彼は頭に聖書を全部入れていたため、それを起こし、神学校をつくった。

バビロン捕囚から帰還した民は、神の言葉の書をエズラが開いた時、**第一に「起立した**。起立という行動は、相手(開かれた御言葉)に對し尊敬を表す行為である。起立は少々の体力を使う行動だが、御言葉を「聞く」においても「朗読する」においても、「反応する」においても、「身体を使う」のが、ユダヤ式である。御言葉は主イエス様ご自身であり、その御方に敬意を表すなら、相応の祝福と恵みを頂く事が出来る。

身体を使う2つ目の礼拝行為は、御言葉や賛美に對して「**手を挙げ**」「**アメンする**」事である。**アメン** **אמן**とは「それは真実です、真理です」「信じます」「そのようになりますように！」という同意の表明である。

キリスト教では口でアメンを唱えるが、ユダヤでは起立し、両手を上げ「アメン、アメン」と同意する。それによって口と耳が開き、心が開き、そして天が開いて、同席している人にも聖霊の働きが移って行く。

3番目の身体を使った行動は、**ひれ伏す**行為である。具体的には、正座したままひれ伏し、手の指先から腰まで真っ直ぐの姿勢で、膝の間に顔をうずめる。完全なる主に対する服従の姿勢である。

こうして彼らは「主を誉めたたえ」「手を揚げてアメン、アメン」し、そして「地に平伏して主を誉めたたえた」。ユダヤ人はこのように、主ご自身であられる御言葉に對し、身体全体を用いて敬意を表す事によって、御言葉なる主が、脳に、身体に、そして魂に、靈に刻み込まれ、靈魂体の全てが活性化されるのだ。

彼らがエズラの御言葉を学んで分かったのは、自分達は御言葉教育を受けておらず、御言葉を知らない、御言葉を守り行わなかった、それでこうなったのだ、と。そこで彼らは、神の言語・ヘブライ語の御言葉を子々孫々へ伝授し、体質化しようとして始めたのが、ヘブライ語の御言葉暗唱(テフィリン)教育である。

人は何か事が起きた時、それに対する考えや解釈、とっさに出る反応や対処は、幼児体験や記憶、刻まれて来た言葉に基づく。もしその人の記憶が、否定的・消極的な「ことば」で満たされていたなら、事が起きた時、消極的・否定的な考えや反応しか出ない。しかしもし、その人の中が、**超・積極的な、いのちに溢れた神の言葉**で満たされていたら、どうだろう。ユダヤ人は、母の胎にいる時からその教育を受けて来たのだ。

私達異邦人は、元々御言葉がない環境に生まれ、何が神に喜ばれ、創造者の御胸にかなった生き方は何か、成功法則も失敗法則も何も知らずに育った。ほしいままに御言葉に反した生き方をしようとしては呪われ、傷つき、わけも分からず、ぶつかりながら生きて来たが、**そんな私達でも、御言葉暗唱して、心と記憶と唇を「御言葉」で満たすなら、主に喜ばれる、いのちの溢れた生き方が体質化されて行く**わけである。

私達は意思をもって自分なりに考え、判断し、評価する。しかし世界は御言葉によって創造され、万物は御言葉法則によって成り立っている。ヘレニズム思考(ギリシア思考)に毒された私達異邦人は、その御言葉さえ評価・判断・批判の対象にしてしまうが、ユダヤ人は、その万物の法則たる御言葉が思考の根幹にあり、御言葉を通して、物事を判断し、対処し、行動するのだから、異邦人は彼らにかなうはずがないのだ。

ユダヤ人は御言葉暗唱と、子供への徹底した伝授ゆえに、世界のどこに散らされても成功し、そして2千年もの離散を経ても信仰と民族は根強く存続した。それに対しキリスト教は、伝道は熱心にしても、子供への御言葉伝授をしてこなかった故に、全世界各地で信仰復興が起きては消え、起きては消えを繰り返した。

世界5大宗教は、キリスト教以外、暗唱している。ユダヤ教、イスラム教、ヒンズー教、仏教、これらには、いのちは無いが、暗唱する故に存続している。しかし、キリスト教だけは暗唱しない故に、ただ栄枯盛衰を繰り返すだけだった。今、私達も、使徒時代に生きていたヘブライ思考に戻り、御言葉暗唱をすべき時だ。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜礼拝

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube